

■資料１：アンケートや会議の意見に対する対応

【凡例】		
・ピンクハッチ	：意見に関連する追加施策があるもの	・赤文字：第三期計画に追加する内容
・オレンジハッチ	：対応について今後検討を行うもの	・青文字：子ども・子育て会議で出された意見
・グリーンハッチ	：既に何らかの対応を行っているもの	
・ブルーハッチ	：対応が困難なもの	

1. 全意見

基本目標① すべての子どもが健やかに成長できるまち

基本方針1. 母子の健康づくり

(1) 安心して妊娠・出産できる環境の整備

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 産後の手続きがスムーズにできるように母子手帳発行の時に書類を前もって渡してほしい。	● 母子手帳発行時は、説明する内容が多岐に渡ることや書類紛失の可能性等を考慮し、産後の手続きに関する書類を渡すことは行っていないが、要望があれば対応は可能。
2	● 岩国市のように出産後に 10 万円の支給があると良い。	● 国の出産・子育て応援交付金事業に基づき、妊娠時と出産時に計 10 万円を給付する「出産・子育て応援事業」を実施しているが、出産後に別途現金を支給することについては考えていない。
3	● 前年度に比べて、出産などで収入が激減した世帯の手当がほしい。	● 収入が激減した世帯に対する手当については、現時点では考えていない。
4	● 大竹市内で産院がなく、家で陣痛になる時不安しかなかった。出産後の手助けをしてくれる（泊りも OK な）支援施設がほしい。	● 全国に比べて広島県内の産科医は少なく、現状では産科の誘致は難しい。 ● 産後のお母さんが安心して子育てできるよう、産科医療機関や助産院に滞在してサポート（デイケア型・宿泊型・母乳ケア）を受けられる「産後ケア事業」を実施している。
5	● 大竹市で出産できるようにしてほしい。 ● 分娩できる産婦人科がほしい。	● 出産数が減少する中で、廿日市市や岩国市でも産院が減っている状況があり、大竹市単独での対応は難しい。
6	● 災害時の避難場所に授乳室やおむつ替えスペース、ミルクづくり用のお湯などを整備してほしい。	● 大竹市地域防災計画には授乳室の設置等に配慮した指定避難所運営に努めることが書かれている。大竹市として、災害時の避難場所に授乳室やおむつ替えスペース等の整備に努めたい。

(2) 母子保健の充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 0 歳児の健診の回数が少ないので回数を増やしてほしい。	● 令和 6 年度に健診を 3 回から 4 回に増やした。生後 1 年未満の乳児に対して交付している健康診査受診券（2 回）と集団で実施している乳児健康相談（健康診査が含まれている）に加え、母子保健指導事業（新規事業）として生後 1 か月児専用の健康診査受診券を交付している。
2	● 子供が産まれたのに、何カ月たっても保健師さんの訪問が全然なかった。	● この場合は連絡の行き違いが起きたものと考えられる。乳児家庭については大竹市では基本的に全戸訪問を行っており、今後も継続していく。

(3) 食育の推進

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 幼稚園で給食（無償含む）を出してほしい。 ● （幼稚園でも）週に何日かでも給食センターなどから給食を出してもらえると良い。	● 幼稚園の利用料が無償化しているため、給食費は負担してもらっており、給食費の無償化は現時点では難しい。 ● 市内の幼稚園では、給食を実施しているが、この給食を給食センターから出すことは考えていない。
2	● 安全な給食を提供してほしい。	● 大竹市の学校給食では地産地消を推進しており、市内産の食材を積極的に取り入れるなど、安全な食材の提供に努めている。
3	● 給食費をいくらか家庭負担にしても良いので、もう少し果物（デザート）や牛肉などが出てほしい。	● 材料費の枠内で、可能な限りバランスの取れた食事の提供を心掛けている。家庭により経済状況も異なるため、家庭負担対応は難しい。

(4) 小児医療体制の確保・充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 小児科などの医療機関を充実させてほしい。	● 全国的にみても小児科医は少なく、広島県はさらに少ない状況であるため、現状では小児科の誘致は難しい。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
2	● 小児科の休日・夜間診療をしてほしい。 ● 夜間救急を充実させてほしい。	● 現在、広島西医療圏域（大竹市・廿日市市）の休日・夜間における小児の二次救急は、広島県保健医療計画に基づき、広域的な医療提供体制をとっており、広島市立舟入病院が担っている。広島県内の小児科医が少ない状況を考えると、大竹市単独及び圏域内での体制整備は困難と考えている。ただ、広島県小児救急電話相談「#8000」、救急相談センター広島広域都市圏「#7119」に参加しており、少しでも安心して過ごせるよう近隣市町等と連携して不安の軽減に努めている。
3	● 病院が少ない。特に、耳鼻科、皮膚科を増やしてほしい。	● 大竹市としての対応は難しい。
4	● 他県（岩国市など）でも当日 500 円で医療を受けられるようにしてほしい。（現在は、後日領収書を提出して清算）	● 広島県外の医療機関は広島県と組織が異なり、県によって医療費の請求事務等が異なるため、県をまたいでの直接的な請求を受けることができないとのことで、償還払い（医療機関の窓口で医療費をいったん支払い、領収書を添付して大竹市に申請）で対応している。大竹市内での受診と同じ対応を広島県外で取るのは難しい。
5	● 一部負担金を無料にしてほしい。	● 現時点では、一部負担金の無料化に伴う財源の確保などの問題があるため対応は難しい。

基本方針 2. 様々な環境にある子どもへの支援

(2) 障害のある児童などへの支援

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 障害のある子も安心して預けられる施設がほしい。	● 日曜日に預ける場所がないというお声をいただいていたが、今年から日曜日の預かりを行う施設が1箇所増えており、改善がみられていると考える。他にも様々な不安がある場合は気軽に相談してほしい。
2	● 治療費や発達障害の支援などをもっと充実させてほしい。	● 現時点では、一部負担金の無料化に伴う財源の確保などの問題があるため対応は難しい。 ● 発達障害の子どもを持つ保護者も対象としてペアレントトレーニングを行っているので、活用いただきたい。放課後等デイサービス等もあるので、相談して欲しい。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
3	● 障害児に対する運動療育を充実させてほしい。 ● 障害のある子が参加しやすい集まりがあると良い。 ● 放課後デイサービスの日にちを増やしてほしい。	● 放課後デイサービスの空きがない状況や、大竹市外で自分に合う場所に通っている方がいることは把握している。市内では日中一時支援を行っている事業所もあるため、一時預かりなどはこちらの利用も検討してほしい。
4	● （第3回会議）医療的ケア児に対する支援について、大竹市での取組はあるか。シミュレーション等はしているか。	● 公立の認定こども園で医療的ケア児を受入れる方向で、看護師の確保に動いている。医療的ケア児も健常児と一緒に保育をすることは今後の大きな課題。看護師が確保できれば前向きに対応し、全ての日数受け入れは難しいかもしれないが前進したい。（第3回） ● 就学にあたって委員会を開き、専門家の意見を踏まえ、就学先を決定する。どこへ進学した場合も、交流するということは学校でも取り組んでいる。（第3回）
5	● 障害のある子でも安全に楽しく遊べる場所がほしい。	● 障害のある児童も遊べる遊具については、全国的に整備が広まっているのは承知しているが、大竹市内にはないため、今後検討していく。

基本方針 3. 健やかな次世代の育成

(2) 小中学校教育の推進

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 先生の指導方法について児童や保護者の声が届くようにしてほしい。	● 保護者から担任や学校に相談があれば可能な限り対応しており、密に連携している。
2	● 英語教育を充実してほしい。	● ALT（外国語指導助手）2名が各小中学校を順番に回っており、英語教育の充実を図っている。 ● 英語については、デジタル教科書も導入している。
3	● ICT 教育を充実してほしい。	● 小中学校の児童生徒には、一人一台タブレットを配布している。
4	● 冬は男女も関係なく、長ズボンを許可してほしい。	● 校則の見直しが進み、性別関係なく長ズボンの着用が OK な学校が増えてきており、改善が進んでいると認識している。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
5	● 学校の教員数を増やしてほしい。	● 法律等でクラス数に対して配置できる教員数が決まっている。大竹市では、 再編交付金を活用して学級支援員を配置する取組を市単独で実施し、子どもたちの教育を充実させている。
6	● 進学時に用意するものや、それに伴う金額を早めに教えてほしい。（できれば HP などを目安の金額が分かるよう）	● 進学時にかかる大まかな金額については、ホームページへの掲載を今後検討する。 ● 2 年後に子育てガイドブックを改訂するため、ブック内での掲載を検討したい。
7	● 学区備品を土日でも購入できるようにしてほしい。	● 学用品を取り扱う店舗の営業時間に関する内容のため、大竹市としての対応は難しい。土日に営業している店舗で購入していただくか、店舗側と相談していただきたい。
8	● 阿多田島へ帰る船の時間まで学校の待機室で待つ子どもに対し、図書室を利用可にするなどしてほしい。	● 職員配置の問題で放課後に図書室を開けることは難しいため、待機室で本が読みたい場合は昼休み時間に図書を借りるなどしていただきたい。
9	● 大竹小学校のプールにも屋根をつけてほしい。	● 大竹小学校と大竹中学校の両校で共同使用できるプールは、昨年度完成し、本年度から使用開始となったばかりで、屋根の設置は予算の関係上難しい。

(3) 青少年の健全育成

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● (第 3 回会議)大竹中学校は不登校 SSR 推進校に指定されているが、具体的な取組は。	● 家族も含め、生徒の思いや願いを聞き取り、無理のない状況で登校への働きかけを行っている。なるべく生徒の自己決定を大切にしながら、長い目で社会的な自立につなげていく。
2	● 何らかの理由で小学校、中学校又は高校に行けなくなってしまった場合に、学校の代わりに通って同等の教育などを受けることができる教育機関があれば良い。	● 子ども一人に一台ずつ配布しているタブレットにはズーム（Web 会議ツール）に似た機能があり、タブレットを教室の後ろに置いて授業をオンライン配信する学校もある。まずは学校の担任に相談してみしてほしい。
3	● こども相談室は親が送るか子どもが自ら出向く必要があり、不登校生にはハードルが高いため、ネット環境を作ってもらえると通いやすい。	● こども相談室は 3 人しか受入れができず、午前と午後で受入れを分けるなどの対応を取っているが、ときには希望者全員が利用できていないこともある。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
	● こども相談室も今は計 4 名ぐらいしか子どもが行けない。フリースクールや、学校での教室以外の居場所を設けてほしい。	● ただ、教室とは別で勉強ができたり居場所になったりする部屋を全ての学校に用意しており、そこで実際に過ごす子どももいる。
4	● スポーツイベントを増やしてほしい。	● 本年度は 12 月第 2 週に、令和 5 年度に初開催したマラソンイベントの第 2 回大会を実施する。その他 10 月のスポーツの日のイベントについて、昨年まではスポーツ施設の無料開放とニュースポーツ体験を行っていたが、今年はニュースポーツ体験のほか新たにバラスポーツ体験を企画するなど、事業内容の改善・充実に取り組んでおり、スポーツ関係団体と連携しながら、引き続き取り組んでいきたい。
5	● アゼリアホールで卓球、バドミントンの教室があると良い。	● 放課後子ども教室では、スポーツ教室として卓球教室やテニス教室などを開いており、アゼリアホールではバドミントン教室などを開催している。これらの取組を PR していくとともに、詳細なニーズがあれば対応していきたい。
6	● スポ少等での団体の大竹総合体育館のアリーナの利用料金を値下げしてほしい。	● スポーツ少年団は大竹市スポーツ協会の傘下組織のため、利用料金が既に半額に減免されている。また、この数十年は小学生のアリーナ個人利用は無料であり、長らく値上げを行っていない。他市に比べて料金が安いという現状はなく、これ以上の措置は施設の維持管理のことを考えると難しい。
7	● （科学館や美術館などでの）子ども向けのイベントを増やしてほしい。 ● 学問イベントを増やしてほしい。（イングリッシュキャンプ、化学イベントなど） ● 子どもと親と一緒に体験したり学べたりする機会があると良い。 ● 子どもの習い事を充実してほしい。	● 休日や長期休みを利用し、学校外での学習・体験活動を実施する「おおたけっ子らんらんカレッジ」(地域学校協働本部主催、大竹市教育委員会共催)等で、大竹市内の化学や建築、飲食関係の企業・団体と連携したものづくり教室や、料理教室などを行っている。市内の小学生が対象であるが、親子での参加も可能な教室もある。 ● 令和 6 年度のサマースクールでは、44 教室を開催した。人気の教室は抽選になるが、充実した内容となっている。

基本目標② すべての親が子育ての喜びを実感できるまち

基本方針4. 子育て支援の充実

(1) 相談・支援体制の充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 子育て支援センターを土日祝でも利用できるようにしてほしい。 ● どんぐり HOUSE を毎週土曜日に開けてほしい／開館時間を延ばしてほしい。	● 子育て支援センターどんぐり HOUSE は、現在第2・第3土曜日を開館している。当面は月2回の開館を続け、ニーズが高ければ毎週土曜日の開館を検討したい。 ● 開館時間の延長は、現時点では職員配置の問題で難しいが、利用状況を踏まえて開館時間を延長するか検討したい。
2	● 大竹市外の子どもも支援センターと一緒に遊べるようにしてほしい。	● 施設の収容能力と職員の配置の問題から現在は大竹市内の子どもに限っている。今後の検討課題としたい。
3	● 年長の子と0～1歳児が同じスペースで遊ぶのは怖いことがあるので、時間帯を分ける日があれば。	● 小学生は親子ラウンジの利用となり、幼児と遊び場が分かれている。 ● 子育て支援ルームでは、小学生未満の子どもが混在していることは認識しているが、施設の収容能力と職員の配置の問題から現状では分けることは難しい。
4	● (第2回会議)「大竹市役所窓口担当者の対応を改善して欲しい」の回答が複数人いたのは残念。改善されていると思うが、今後引き続き相談者が相談しやすい窓口で、色々な情報を紹介しやすい窓口であって欲しい。 ● 市役所窓口担当者の対応を改善してほしい。	● 職員間で大竹市民の意見を閲覧し、声掛け等を行って対応の改善を図っている。
5	● 気軽に(悩んだときに)相談できる場所がほしい。	● おおたけ版ネウボラとして、子育て支援センターどんぐり HOUSE 及び保健医療課保健予防係で常時相談を受け付けているため、気軽に利用してほしい。(子育て支援コーディネーター及び母子保健コーディネーターが相談に応じている)
6	● 発達障害の子に対する相談窓口があれば良い。 ● 子どもの発達などを相談できる専門の施設をつくってほしい。	● 1歳6か月児健診及び3歳児健診の事後相談として、専門家を呼んで専門家を呼んで相談を受け付ける「すくすくのびのび相談」や、健診後に子どもの発達等の相談に応じる「健診事後フォロー教室」(たんぼぼ教室)を開催するなどして対応している。不安がある場合は是非利用してほしい。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
7	● イベント時などに助産師さんの無料相談コーナーがあると良い。	● ふれあいサロン(にこにこ相談)の実施時には助産師も参加して相談に応じているが、他のイベント等でもニーズがあれば実施を検討したい。
8	● 保育園や幼稚園の紹介がなかった。保育園や幼稚園を探す際に大竹市が協力してほしい。	● 希望があれば窓口で相談を受け付けている。また子育て支援センターどんぐり HOUSE の子育て支援コーディネーターにも相談できるため、気軽に相談してほしい。
9	● 知り合い同士で集まるため、知り合いのいない人は交流できない。	● 交流ができるよう声掛けを行うなどしてサポートしたい。
10	● アゼリアホールに育児・子育て相談ができる場所がほしい。	● 大竹市内では各種相談もしているので、活用してもらえるように情報発信を行っていく。
11	● (第2回会議)ネウボラは、本来とはやり方が違うので上手くいっていないのでは。本来のネウボラは、妊娠が分かった時点から小学校までは同じ保健師が付く。この辺りをもう少し配慮していけばいい。 ● (第2回会議)ネウボラで、自分はこの人(保健師)と話をすればいいというのがあれば安心感がある。(本来のネウボラを)是非前向きに検討してほしい。	● ネウボラについては、利用者の担当相談員が在席している場合は対応している。 ● 不在時は、利用者が希望する場合は後日その担当相談員が対応するが、担当相談員以外でもその場ですぐに対応できる体制を取っている。
12	● 子どもを預けてお母さんが睡眠を取れるような、お母さんの保健室のような場所がほしい。	● お母さんが休める施設ということではないが、園によっては6か月以上の子どもは一時預かりが利用可能なため、ご自宅で休養したい際はこれらの事業の活用を検討してほしい。
13	● 気軽に家事代行を頼めるリーズナブルな事業があると良い。(あるならもっと情報発信してほしい)	● ヘルパーが訪問して家事等のサービスを提供する事業(家事育児支援サービス)について、令和7年度からの実施を予定している。(料金は一割負担のみのため、安価での利用が可能。)

(2) 情報発信の充実・強化

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	●（第1回会議）大竹保育所の改修について、委員や該当の保護者が感じる不安は情報量のなさが大きな原因。限られた場だけでの情報提供ではなく、もっと積極的に見てくださいという姿勢を持つことで、大竹市に対する印象が変わる。 ●（第2回会議）情報発信が上手くいっていない印象。子育て以外でも、大竹市のHPの中に実は載っていることがあるが、知っている人が結構少ない。HPを少し入ってみると逆に見づらい。HPに掲載というPRも足りないと感じる。 ●（第2回会議）子育て支援課、子育て支援をされている方の紹介、母子手帳や出生届を出す時に一緒に両親と（情報を）見ていく、丁寧な説明をもう少しされるといいのでは。	● 情報発信の方法については今後検討していく。適切な発信に努めたい。
2	● 子育て支援サービスが一目でわかるパンフレットなどを出産後にもらえると良い。	● 大竹市で実施している各種支援サービスや相談窓口等を紹介する子育てガイドブックを配布しており、こちらを参考にしていきたい。
3	● SNS や HP での子育て情報発信の頻度や内容を増やしてほしい。（岩国市の子育てアプリのようにカレンダーでイベントや子育て関連行事の日時や場所、内容がわかると良い） ● （大竹市が）何をやっていてどういう状況であるとか、Xなどでタイムリーにどんどん情報を上げてほしい。（大竹市内の生活に必要な情報共有が全くされていないため）	● 大竹市HP（子育て世代包括支援センター【おおたけ版ネウボラ】のページ）に、市内の子育て関連イベントの開催日時や場所を網羅した「子育てカレンダー」を月ごとに掲載しており、こちらを参照していただきたい。 ● 対応を検討する。現在、facebook や LINE でも情報を流しているが、可能な限り情報発信や周知に努めたい。また、更新した情報は子育てカレンダーにも掲載しているため、HPも確認していただきたい。
4	● 保育園の空き状況を HP で確認できると良い。	● 今後対応を検討したい。入所調整後の情報であれば、掲載することも可能ではないかと考える。ただ、掲載時に空きがあったとしても入所を確約するものではないことをご理解いただきたい。

(3) 遊びの場・学びの場づくり

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	●（第2回会議）（ボール遊びが出来る公園かどうかは）今は保護者の口コミの蓄積しかない。この公園は（ボール遊びが）出来るということが示されていればいい。	● 公園はその地域ごとの運用がなされているため、ボール遊び可等を個別に示すといった対応は難しい
2	●（第2回会議）梅雨が続くと外で遊べず、（子どもを）岩国市のこども館やまるくる大野、ショッピングモールの有料スポットに連れて行くが、お金がかからない所が少し要ると思う。大竹にも室内で遊べる場所があれば。 ●（日曜日、雨天時などに）屋内で遊べる施設を増やしてほしい。 ● まるくる大野のような施設が増えると良い。 ● 季節問わず利用できる施設を増やしてほしい。 ● 小学生以上の年齢の子どもが遊べる屋内施設がほしい。 ● 中高生などが遊ぶ施設が近くにほしい。 ● 年齢関係なく安心・安全に遊べる場があれば良い。 ● 年中開設している屋内プールがほしい。 ● バッティングセンターを誘致してほしい。 ● 子どもと一緒に過ごせる場所を増やしてほしい。	● 大竹市総合体育館、アゼリアおおたけ、玖波公民館・栄公民館の講堂兼体育館の市民個人利用料金は、小学生（～17時）が無料、中学生（～19時）が1人当たり1時間30円、高校生以上は100円と低廉な金額で使用できるため積極的に活用してほしい。
3	● ジェイボード、スケボーができる広場がほしい。	● スケートボードは現在公園での利用が禁止されており、現状での対応は難しい。
4	● もっと身体を動かせる場所がほしい。 ● 小方中学校跡地を子どもの遊び場として整備してほしい。	● 今後の公共施設等を検討する中で参考としたい。
5	● 木野小学校跡地のグラウンドに遊具などを置いて子ども達が遊べるようにしてほしい。	● 木野小学校跡地は地域の集会所等となっている。現時点ではグラウンドに遊具を設置するなどの話は出ていない。
6	● もっと公園などの子どもの遊び場を整備してほしい。（増やす、きれいにする、遊具を増やす）	● 一人当たりの公園充足率は基準を満たしているため、整備・管理費のことを考えると新規で公園を増やすことは考えていないが、遊具の更新や公園の維持管理については今後検討する。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
7	● ボール遊びができる公園や広場がほしい。（コロナ以降小学校のグラウンドを利用できなくなったため） ● 近所の公園で年配の方がゲートボールをしており、遊具なども何も無いためゲートボール専用の様になっている。野球のボールとバットを持っていると、禁止だと言われた事がある。	● 公園でのボール遊びについては一律で禁止しているわけではない。街区公園のうち、住民から苦情があった箇所についてボール遊びを禁止している（街区公園は憩いの場であり、運動ができる公園として整備していないため）。 ● 晴海臨海公園の多目的グラウンド（整備中）は予約制だがボール遊びが可能。野球はさかえ公園でもできるため、ボール遊びをする場合は多目的グラウンドまたはさかえ公園に行ってもらえれば。
8	● 公園に不審者が入らないような、柵で囲われた安全な遊び場がほしい。	● 公園を柵で囲い、施錠を行うと、公園内に自由に入れず、実質的に予約制になってしまうため、柵の設置は考えていない。
9	● 公園に時計をつけてほしい。	● さかえ公園や晴海臨海公園等の新しい公園には時計を設置しているが、大竹市内に公園が 60 箇所近くあるため、全ての公園に時計を設置する対応は難しい。
10	● 子どもが公園で遊んでいたらゲートボールをするからと追い出されたことがあり、子どもはその後公園に寄り付かなくなりました。（秋葉公園） ● 近所の公園で年配の方がゲートボールをしており、遊具なども何も無いためゲートボール専用の様になっている。野球のボールとバットを持っていると、禁止だと言われた事がある。 ● 伸び伸びできない。公園で遊ぶ事を老人にとっても遠慮している。すぐに苦情が入る。	● 公園の運用面に関しては、大竹市として対応が難しいが、子ども達がのびのびと遊べる遊び場については、今後検討を続ける。
11	● 阿多田島の海水浴場や錦龍公園を復活させてほしい。	● 阿多田島の海水浴場は数十年前にはあったが、サメが出るようになったことや海岸維持が困難なことなどから現在はなくなり、今後も復活はない状態。 ● 錦龍の滝は憩の森の一角にあり、昔は遊具もあった。しかし、車での進入ができず、施設の管理も難しいため手作業で遊具を撤去・運搬した過去があり、再配置は難しい。現在はシニア世代のウォーキングコースとしての

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
		需要が高く、自然にも恵まれているため、子どもたちには是非自然に親しんでほしい。
12	● 帰宅を促す音楽を 17 時か 17 時半にしてほしい。	● 4/1～9/30 は 18 時、10/1～3/31 は 17 時に帰宅を促す音楽を流している。和木町との協議のもと放送時間を一緒にしているため、時間の変更は難しい。 ● 17 時の音楽をもっと遅くしてほしいという意見もあり、大竹市民によって意見が異なるため、調整が難しい。
13	● 岩国には夏に無料開放する屋外プールがあるが、大竹は水遊びをする所がない。公園にあれば。	● 晴海臨海公園の水広場にミスト噴水を設置しており、4 月頃から 10 月まで利用できる。この他の水遊び場については設置の予定はない。
14	● 親子でゆっくり過ごせる図書館を増やしてほしい。 ● 子どもがのびのびと楽しめる図書館がほしい。	● 大竹市立図書館は平成元年（1989 年）に開館し、児童が本を読める児童スペースを設け、小学校低学年までを対象に親子参加型の読み聞かせイベントを定期的に行っている。ぬいぐるみおとまり会や「本の福袋」イベントなども行っており、子どもたちが楽しく過ごせるよう工夫している。
15	● 図書館が古くて臭うので改修してほしい。	● 図書館内を確かめてみたが、臭いについては確認出来なかった。今のところ改修の予定はない。
16	● 子育てに関する様々な悩みのテーマごとに、講座や相談会を開いてほしい。（性教育、食事、成長段階ごとの接し方の変化など）	● 広島県教育委員会が作成した「親の力」をまなびあう学習プログラム（通称：親プロ）を活用した学習機会の充実を図りたい。成長段階ごとの子どもの関わり方などを学ぶプログラムで、新型コロナの影響で一時中止していたが、現在は少しずつ再開している。 ● 中高生などの青少年向けプログラムの実施は、ジュニアリーダー育成事業の一つに組み込んでいきたい。
17	● 子育て世代向けに行われるイベントについて、土日の開催も検討してほしい。	● 土日にイベントを開催しているが、平日イベントと比較して参加者は多くない。イベント内容に沿った開催曜日を今後も検討していく。

(4) 経済的負担の軽減

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 多子世帯への支援金があると良い。	● 令和 6 年 10 月分から児童手当が拡充されるが、多子世帯については経済的支援の必要性が高いとして、第 3 子以降は加算額を月額 3 万円に増額する。多子加算の数え方も、上の子どもは高校生年代以下から大学生年代以下に拡大する。
2	● 各種子育て支援を充実してほしい。(税金を払っている世帯への支援もしてほしい) ● 保護者への支援ではなく、直接子どもに支援できることを増やしてほしい。 ● 経済的支援(手当など)を検討してほしい。 ● 子どもの支援には所得制限をなくしてほしい。	● 10 月から、生後 2 か月～満 3 歳(誕生月)の乳幼児のいる家庭に対し、子育て経験のある配達員が 2 か月に 1 回、乳幼児 1 人あたり 3,300 円相当のおむつやおしりふき等を届ける大竹市独自の「おむつ等宅配事業」を始める。子育て用品を届ける際に、子どもと保護者の見守りや悩みごと・困りごと相談への対応を行ったり、子育てサポート情報を提供したりして、子育てを支援する。
3	● 小中学校の給食を無償化してほしい。	● 令和 5 年度から大竹市内の小中学校の学校給食費を免除する取組を行っており、保護者の経済的負担の軽減と子育て支援の推進を図っている。
4	● 女兒の生理用品購入費用の助成がほしい。	● 現在、生理用品(現物)を渡すことは大竹市としては行っておらず、助成の実施も難しい。
5	● 義務教育の小中学校入学前に入学準備金などの援助があると良い。	● 全員ではないが、条件に合致する方は就学援助制度や特別支援教育就学奨励費を利用できる。就学援助を受けた方で、新入学児童生徒学用品購入費は申請時期によっては、入学前に支給が受けられるため、制度を活用してほしい。
6	● 教育費を無償化してほしい。 ● 中学校からの学費を補助してほしい。	● 中学校は義務教育のため、公立学校の学費は無償となっている。私立中学校に通う場合は学費負担が大きい、大竹市としての補助は難しい。
7	● 子育て世帯に、定期的にコイちゃんクーポンや買物 5%オフの子育て世帯パスポートのようなものがあると良い。	● 大竹市単独での実施は予定していない。 ● ただし、広島県では、公益財団法人ひろしまこども夢財団が子育て応援パスポート(イクちゃんサービス)の取組を実施しており、大竹市内にも対象施設があるので、そちらを活用してほしい。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
8	● 子ども食堂を増やしてほしい。	● 大竹市では、現在 4 団体が子ども食堂を運営している。大竹市は現在、子ども食堂や学習支援等に取り組む団体の活動費を補助しており、子ども食堂の普及を後押ししている。

基本方針 5. 仕事と家庭の両立支援

(1) 保育体制・保育サービスの充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● (第 1 回会議) 大竹保育所の改修に伴い、一時的に本町保育所で保育を行う際、暖房等の空調完備を考えて欲しい。	● 本町保育所の空調設備は数年前に更新しており、冷暖房を完備している。
2	● 公立保育所の保育士の給与向上を。	● 国の人事院勧告と労使交渉により給与の見直しを行っている。
3	● (第 1 回会議) 大竹保育所の保育士の加配について対応を。	● 保育士の確保策等については、今後検討を行う。
4	● (第 3 回会議) 0 歳児、1 歳児で希望の施設に入れなかったとか、ちゃんと入れるか心配だという話を聞く。施設の充足率と、現状とは少し乖離があるのでは。	● 大竹市は保育補助員(10 人程度)を独自に配置し、保育士問題の改善に取り組んでいる。 ● 国が定義する待機児童についてはゼロだが、希望の施設に入ることができないから待機する方を数名ほど把握している。
5	● 保育園に落ちることがないよう充実してほしい。 ● 市立の幼稚園がほしい。 ● 専業主婦でも入れやすい保育施設が増えるといい。	● 大竹市では、国が規定する待機児童はいない。子どもの数が減少傾向にあるため、追加で新施設を建設することは難しい。
6	● 保育所での保育士のレベルをあげてほしい。	● 各種研修等を行っており、今後も引き続き取り組みたい。
7	● 保育園で TV・DVD ではない遊び時間を増やしてほしい。	● 以前は通常の保育時に TV や DVD をつけていた事例があったが、現在は改善している。(延長保育時等においては、テレビや DVD をつけていることもある)
8	● 性犯罪歴がある人物が保育園などで働くことがないように対策をしてほしい。	● 子どもに接する仕事をする人の性犯罪歴をチェックする「日本版 DBS」の創設などを盛り込んだ法律(こども性暴力防止法)が今年 6 月に成立し、学校や認可保育所などは確認が義務付けられた。施行後は法律に基づいて対応していく。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
9	●（第1回会議）大竹保育所と本町保育所の統合による利用時間の差をなくしてほしい。	● 統合によって、両施設の最大開館時間を組み合わせ、利用可能な時間を最長に設定している。
10	● 同居親族の介護や通院以外でも預けられるようにしてほしい。	● 一時預かり事業は子育て負担を軽減する目的（レスパイト利用など）での利用が可能となっている。
11	● 長期休暇に数日でよいので保育園を利用したい。	● 保育所（園）や認定こども園の一時預かりで対応が可能なため、利用を検討していただきたい。
12	● 延長保育か一時預かりがもっと早くから遅くまでであると良い。	● 小方認定こども園は開所時間が19時までで、延長保育を18時半～19時の間に行っているが、利用が少ない状況にある。延長保育や一時預かりの時間変更・延長については、現時点では難しい。
13	● 一時預かりは初めての人が利用しにくいので、半日体験などができると良い。	● 小方認定こども園では半日の利用料金を設定しており、半日預かりが可能なため活用してほしい。
14	● 日曜・祝日に子どもを預けられる施設がほしい。	● 日曜日と祝日は保育所が休園しており、預けるとなるとファミリー・サポート・センターを利用するしかないのが現状。日曜日と祝日に子どもを預けたいというニーズは一定数あると考えており、対応については今後の検討課題としたい。 ● 緊急時にはファミリー・サポート・センターの利用も検討していただきたい。
15	● フルムーン（幼保連携型認定こども園）の放課後教室をつくってほしい。	● フルムーンインターナショナルこども園おたけは私立の施設であるため、大竹市としての対応はできない。
16	● 病児・病後児保育があると良い。	● 独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内に病児・病後児保育室（愛称：にっしーくんハウス）があるため活用してほしい。
17	● 広島西医療センターで子どもをみてる体制を取ってほしい。	● 独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内に病児・病後児保育室（愛称：にっしーくんハウス）があり、病児や病後児を受け入れている。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
18	● 病児保育のコロナ検査をなくしてほしい。 ● 病児保育を利用するには医師の診断が必要で、前日の早い時間までに予約しないと利用できず、熱がある場合にはコロナを疑われて2週間後などと言われるため、結局利用できずに会社を休むしかない。	● 病児・病後児保育室は医療機関の中に設置されているため、利用には一定のルールが必要であるため、ご不便をおかけするが対応は難しい。 ● 施設側と適宜話し合いを行い、改善可能なことがあれば対応していく。
19	● 熱などで呼び出しがあった場合に代わりに迎えに行って病児保育してくれる場所がほしい。	● 現状では対応が厳しい。
20	● 病児保育の利用枠を拡大してほしい。	● 病児・病後児保育室は定員3人程度だが、定員を満たすような利用状況ではないため、現状これ以上拡大することは難しい。
21	● ファミリー・サポート・センターは事前相談が平日昼間で使いにくい、ネットやメールでの相談や予約など、共働き世帯に配慮した事業になると良い。	● 委託先（大竹市社会福祉協議会）の勤務状況から、現状では対応が難しい。
22	● 子どもを預けるサービスを充実してほしい。	● 今後、ファミリー・サポート・センターや一時保育の充実について検討していく。
23	● ファミリー・サポート・センターの金額を下げてほしい。	● ファミリー・サポート・センターの利用料金を見直し、令和6年度に値下げを行って、より活用しやすいサービスの提供に取り組んでいる。
24	● ファミリー・サポート・センターを利用したいが一步を踏み出せないため、情報を分かりやすく提供してほしい。	● 子育てガイドブックに情報が集約されているため、参考にしていきたい。ファミリー・サポート・センター事業を含め、さまざまな子育て支援について分かりやすい情報提供に努めたい。
25	● 保育園の申し込みや継続時の書類を毎年記入するのが手間なので、オンラインフォームなどで前年度の内容を修正できるようにしてほしい。	● マイナポータルでの申請が可能なため、こちらの利用も検討していただきたい。

（2）児童の安全・安心な居場所づくり

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	●（第3回会議）居場所づくりで、大竹市で考えていることがあるか。	● 子どもの居場所をどう確保するのかというのは国の施策としてもかなり大きな柱となっていると認識している。今後の施策で触れられるところがあれば触れていきたい。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
2	● 小学生を預かる施設がほしい。 ● 年末、GW といった長期の祝日など、1～2 日でも良いので保育園や小学生が過ごせる場所をつくってほしい。	● 放課後児童クラブや放課後子ども教室、ファミリー・サポート・センターなどを利用していただきたい。
3	● 放課後児童クラブ以外で、学校帰りに寄れる施設がもっとほしい。(習い事、勉強ができるなど)	● 小学生を対象に、放課後に公民館や体育館などでさまざまな体験活動やスポーツ教室を開催する放課後子ども教室を実施しており、こちらの活用を検討していただきたい。令和 5 年度以降は和文化体験や卓球、硬式テニスなど 9 教室を実施している。
4	● (第 2 回会議) 傾向として、お母さんが働く方が増え、放課後児童クラブや保育所、子どもを一時的に預ける等、平日のニーズが高まっているように感じた。 ● (第 3 回会議) 大竹小学校の児童クラブが充足率 100%を超えている。 ● 放課後児童クラブの選択肢を増やしてほしい。(児童館を増やしてほしい)	● 現在の放課後児童クラブは 1～3 年生を対象に整備したが、完成後に制度改正によって対象児童が 6 年生までに拡大した。児童の受入スペース不足、学校の建替によるコンパクト化で空き教室がないなど、高学年は受け入れにくい状況となっている。 ● 人口推計で子どもの人数の減少が見込まれているため、施設を増設する対応も困難であることをご理解いただきたい。
5	● 利用回数に関わらず 1 ヶ月に 3,500 円の利用料がかかるので、日割り計算してほしい。	● 月曜日から金曜日までの通常利用で 3,000 円、月曜日から土曜日までの通常利用で 3,500 円としており、利用者の負担を定額に抑えている。日割り計算は考えていない。
6	● 冬休み、夏休みの時に放課後児童クラブで、おやつ代を 1 ヶ月 1,000 円払っているため、利用していない時の分をまとめてもらえたら良い。	● 利用しない日に子どもが取りに来る場合は、お菓子を手渡しする対応を取っている。おやつ代についても低額に抑えているため、日割り計算は考えていない。
7	● ひかり児童クラブを土曜日も 18 時半まで開けてほしい。	● 土曜日の利用時間の変更については今後料金区分を見直す段階で検討したい。
8	● 長期休暇中の保育所と放課後児童クラブのお休み期間を合わせてほしい。(親の休みの調整に苦勞するため)	● 保育所と放課後児童クラブの休みの調整については現時点では考えていない。
9	● 児童クラブを土曜日のみ利用したい。平日は利用しない枠がほしい。土曜日のみ、高学年の子の預け先があれば仕事をしていても安心。	● 対応は困難な状況。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
10	● 放課後児童クラブで給食を出してほしい。(夏休みなど) ● 長期休暇時の給食、食事の提供支援をしてほしい。	● 利用者が少なかったため採算面を理由にお弁当配食サービス業者が一時撤退したが、令和 6 年 8 月から別の業者が弁当の提供を再開した。
11	● オプション料金がかかっても良いので、保育所や児童クラブでの課外活動(英語、体操、スポーツ教室、ダンス、習字など)を取り入れてほしい。 ● 学童の中で習い事ができるようにしてほしい。 ● 子どもの習い事を充実してほしい。	● 放課後児童クラブの中でも習い事をさせて欲しいという要望があるが、活動を行う場所を確保できず、実施は困難な状況。放課後子ども教室でスポーツ教室等を開催している。

基本目標③ 地域と市民が「子どもの育ち」と「子育て」に寄り添い、支えるまち

基本方針 6. 子育てにやさしい生活環境の整備

(2) 交通安全・防犯活動の推進

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 子ども達が安心して自転車に乗れるように安全な道路にしてほしい。 ● 歩道がない箇所や狭い箇所、凸凹な箇所があるので整備してほしい。	● 警察や国・広島県・大竹市の担当者、PTA が一体となって行う通学路の緊急安全点検を毎年実施している。そこで異常や危険箇所が見つかった場合は、優先順位を付けながら対応している。
2	● ヤマザキデイリーから大竹小までの道の歩道が狭いので考えてほしい。	● 大竹小学校の向かい側の歩道が狭いということは認識しているが、歩道を広げようとなると用地買収を伴う道路拡張工事が必要となるため、現時点で歩道を広げることはできない。
3	● 交通事故が起こっており、子どもに配慮した環境や施策の考案をお願いしたい。まずは無理な運転をさせない交通環境整備を進めてほしい。	● 自治会からも改善要望が上がっており、課題として認識している。道路が狭かったりスピードを出して通行する車両が多かったりする場合は、路面表示等によりスピードの抑制を促す措置を行っている。ただ、スピード抑制のため道路にクランクを設けるなどの計画は今のところ予定していない。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
4	● 通学路のアスファルトを色付けしてほしい。	● 通学路で歩道がない箇所については、グリーンベルト（歩道がない道路の路側帯を緑色に着色して、通行車両に通学路を視覚的に認識させる）を設置するなど、その都度対応している。
5	● 用水路に柵をつけてほしい。 ● 側溝に蓋をしてほしい。	● 危険箇所にはポストコーンを立てるなどして注意喚起を行っている。
6	● （第3回会議）「こども 110 番の家」はプレートがあるだけで、非常に分かりにくい。少し予算はかかるが、のぼりを出すなど、子どもがすぐ分かるようにしてほしい。	● 現在、ステッカー型や小旗型など、他自治体の事例を調査しているところ。こういった形で子どもたちに分かりやすく示していくかは今後検討していく。
7	● 登下校時の安全対策を充実させてほしい。（GPS を持たせても良いことにしてほしい）	● GPS（キーホルダー型等）の持参については、希望があれば個別に相談に応じている。気になる場合は一度相談してほしい。
8	● 子どもの安全のためにパトロールを強化してほしい。	● 大竹市防犯連合会が交代で青色防犯パトロール活動を展開し、地域の子どもの見守りを行っている。大竹市としては、補助金を出して活動を支援している。また、公用車に「子ども安全パトロール」のステッカーを貼って「見守り活動」を行っている。
9	● 笛ではなく防犯ブザーの利用を再度考えてほしい。	● 防犯ブザーについては、大竹市としても学校に持参することを許可している。電池切れで防犯ブザーが使用不能となるトラブルの予防として、笛の携帯も可能としている。
10	● 夜間、街灯がなく暗いため、街灯を整備してほしい。	● 国等の基準に基づいて必要な照度を確保している。市営外灯のうち道路等と歩行者灯のLED 化について本年度からの2カ年事業で進めており、照度も明るくなるのではと想定している。柱や外灯の新設は考えていないが、必要と認められる場合は増設も検討する。 ● 自治会等で防犯灯を設置する場合は、設置工事費用の補助を行って支援している。
11	● もしもの時に助けてもらえる場所を子ども達に教えてほしい。	● 親子で通学路を歩いてもらい、「子ども 110 番の家」といった万が一の際に駆け込める場所を確認していただきたい。場所が分からない場合は学校に相談して確かめてほしい。

(3) 多世代の交流の場づくり

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● （第2回会議）公園ではほとんどボールを使って遊べず、遊び場はほとんどなく家で遊ぶしかない。和木小では遊べる状態なので、（大竹市の小学校でも）少しの時間でもいいし、曜日指定でもいいので（グラウンドを）使わせてほしい。限られた時間でもいいから遊ばせてあげたいというお母さん方の意見がある。 ● （第2回会議）現に利用者同士でトラブルが起きており、それを学校の先生方に言う人がおられるから学校側はそういう手段（自由利用としないこと）を取らざるを得ないと聞いている。 ● （第2回会議）利用するからには責任も伴うことを各ご家庭が理解し、受け入れた上で利用することを認めていただきたい。 ● （第2回会議）グラウンドの利用に関して、先進地区では学校と老人クラブが協力して見守り体制をつくっているところもある。ボランティアに協力を仰いでみては。 ● （第2回会議）自分たちの目の届いていない時に不特定多数に利用されるのは少し怖いという不安もあり、（施設開放は）あまり簡単なことでもない。 ● （第2回会議）土日や正月休み（に遊ぶこと）は望んでいない。月～金曜の学校終了後、何時間でもいいから友達と遊びたい、広いところで遊ばせたい。 ● （第3回会議）大竹小学校と和木小学校は運用の仕方が違うのかも。 ● （第3回会議）学校開放は、公園と同じと言われたことがある。大竹市にも一定の責任があるが、子どもがけがをしたら全て大竹市が悪いわけではない。そういう意味で（学校の開放は）できなくはないと思う。工夫を考えて。 ● 小学校グラウンドで遊べるようにしてほしい。	● 現在は、セキュリティや安全管理等の問題もあり、事前に登録した団体のみが利用できるよう「学校開放事業」として一般への開放を行っている。放課後にグラウンドを使用したいという場合は、その場に責任者や管理者を置き、怪我等がないように子どもを見守るということであれば、（団体利用として許可できるものであれば）利用可能である。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
【その他の自由記述】		
2	● 未就学児の保育料を安く（無償化）してほしい。 ● 保育料を安くしてほしい・無償化してほしい。 ● 保育料の算定基準を見直してほしい。	● 現時点での対応は難しい。
3	● ファミリー向け賃貸物件が少ない。	● 大竹市としての対応は難しい。
4	● 男性トイレにもおむつ台が増えると良い。	● 新しく整備する施設において、今後検討していく。
5	● 子育て世帯に子ども会、自治会、学校などの夜の集まりはやめてほしい。 ● 子ども会や町内会で課せられる役割が子育て世帯にはつらい。 ● 子どもが産まれる年に自治会の班長をやらされたことがあり非常に不満だった。 ● PTA や子ども会の参加を任意にしてほしい。 ● 自治会の仕事、子ども会の仕事、PTA など、負担が大きすぎる。	● 大竹市としての対応は難しい。
6	● 子連れで行ける飲食店を増やしてほしい。 ● ゆめタウンのトイレをカートやベビーカーごと入れるようにしてほしい。 ● 大型ショッピングセンターがほしい。 ● 大竹市にバースデイ（しまむら）があると便利。	● 大竹市としての対応は難しい。
7	● 令和 10 年に旧小方中体育館がなくなると聞いた。体育館を完全になくすことは止めてほしい。	● 今後の公共施設等を検討する中で参考としたい。
8	● 離婚した父親から養育費を必ず受け取れる法律とそれに関する簡単な手続き。	● 大竹市としての対応は難しい。
9	● 子どもにとって安全で安心して生活できる大竹市であってほしい。	● 大竹市として努力していく。

2. 意見に関連する追加施策があるもの

基本目標① すべての子どもが健やかに成長できるまち

基本方針1. 母子の健康づくり

(1) 安心して妊娠・出産できる環境の整備

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
6	● 災害時の避難場所に授乳室やおむつ替えスペース、ミルクづくり用のお湯などを整備してほしい。	● 大竹市地域防災計画には授乳室の設置等に配慮した指定避難所運営に努めることが書かれている。大竹市として、災害時の避難場所に授乳室やおむつ替えスペース等の整備に努めたい。

(2) 母子保健の充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 0歳児の健診の回数が少ないので回数を増やしてほしい。	● 令和6年度に健診を3回から4回に増やした。生後1年未満の乳児に対して交付している健康診査受診券（2回）と集団で実施している乳児健康相談（健康診査が含まれている）に加え、母子保健指導事業（新規事業）として生後1か月児専用の健康診査受診券を交付している。

基本方針3. 健やかな次世代の育成

(2) 小中学校教育の推進

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
2	● 英語教育を充実してほしい。	● ALT（外国語指導助手）2名が各小中学校を順番に回っており、英語教育の充実を図っている。 ● 英語については、デジタル教科書も導入している。
3	● ICT教育を充実してほしい。	● 小中学校の児童生徒には、一人一台タブレットを配布している。
5	● 学校の教員数を増やしてほしい。	● 法律等でクラス数に対して配置できる教員数が決まっている。大竹市では、再編交付金を活用して学級支援員を配置する取組を大竹市単独で実施し、子どもたちの教育を充実させている。

(3) 青少年の健全育成

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
3	● こども相談室は親が送るか子どもが自ら出向く必要があり、不登校生にはハードルが高いため、ネット環境を作ってもらえると通いやすい。 ● こども相談室も今は計4名ぐらいしか子どもが行けない。フリースクールや、学校での教室以外の居場所を設けてほしい。	● こども相談室は3人しか受入れができず、午前と午後で受入れを分けるなどの対応を取っているが、ときには希望者全員が利用できていないこともある。 ● ただ、教室とは別で勉強ができたり居場所になったりする部屋を全ての学校に用意しており、そこで実際に過ごす子どももいる。

基本目標② すべての親が子育ての喜びを実感できるまち

基本方針4. 子育て支援の充実

(2) 情報発信の充実・強化

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
2	● 子育て支援サービスが一目でわかるパンフレットなどを出産後にもらえると良い。	● 大竹市で実施している各種支援サービスや相談窓口等を紹介する子育てガイドブックを配布しており、こちらを参考にさせていただきたい。

(4) 経済的負担の軽減

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 多子世帯への支援金があると良い。	● 令和6年10月分から児童手当が拡充されるが、多子世帯については経済的支援の必要性が高いとして、第3子以降は加算額を月額3万円に増額する。多子加算の数え方も、上の子どもは高校生年代以下から大学生年代以下に拡大する。
2	● 各種子育て支援を充実してほしい。（税金を払っている世帯への支援もしてほしい） ● 保護者への支援ではなく、直接子どもに支援できることを増やしてほしい。 ● 経済的支援（手当など）を検討してほしい。 ● 子どもの支援には所得制限をなくしてほしい。	● 10月から、生後2か月～満3歳（誕生月）の乳幼児のいる家庭に対し、子育て経験のある配達員が2か月に1回、乳幼児1人あたり3,300円相当のおむつやおしりふき等を届ける大竹市独自の「おむつ等宅配事業」を始める。子育て用品を届ける際に、子どもと保護者の見守りや悩みごと・困りごと相談への対応を行ったり、子育てサポート情報を提供したりして、子育てを支援する。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
3	● 小中学校の給食を無償化してほしい。	● 令和5年度から大竹市内の小中学校の学校給食費を免除する取組を行っており、保護者の経済的負担の軽減と子育て支援の推進を図っている。
5	● 義務教育の小中学校入学前に入学準備金などの援助があると良い。	● 全員ではないが、条件に合致する方は就学援助制度や特別支援教育就学奨励費を利用できる。就学援助を受けた方で、新入学児童生徒学用品購入費は申請時期によっては、入学前に支給が受けられるため、制度を活用してほしい。
8	● 子ども食堂を増やしてほしい。	● 大竹市では、現在4団体が子ども食堂を運営している。大竹市は現在、子ども食堂や学習支援等に取り組む団体の活動費を補助しており、子ども食堂の普及を後押ししている。

基本方針5. 仕事と家庭の両立支援

(1) 保育体制・保育サービスの充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
4	● (第3回会議) 0歳児、1歳児で希望の施設に入れなかったとか、ちゃんと入れるか心配だという話を聞く。施設の充足率と、現状とは少し乖離があるのでは。	● 大竹市は保育補助員(10人程度)を独自に配置し、保育士問題の改善に取り組んでいる。 ● 国が定義する待機児童についてはゼロだが、希望の施設に入ることができないから待機する方を数名ほど把握している。
8	● 性犯罪歴がある人物が保育園などで働くことがないように対策をしてほしい。	● 子どもに接する仕事をする人の性犯罪歴をチェックする「日本版DBS」の創設などを盛り込んだ法律(こども性暴力防止法)が今年6月に成立し、学校や認可保育所などは確認が義務付けられた。施行後は法律に基づいて対応していく。
24	● ファミリー・サポート・センターの金額を下げてほしい。	● ファミリー・サポート・センターの利用料金を見直し、令和6年度に値下げを行って、より活用しやすいサービスの提供に取り組んでいる。

基本目標③ 地域と市民が「子どもの育ち」と「子育て」に寄り添い、支えるまち

基本方針6. 子育てにやさしい生活環境の整備

(2) 交通安全・防犯活動の推進

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 子ども達が安心して自転車に乗れるように安全な道路にしてほしい。 ● 歩道がない箇所や狭い箇所、凸凹な箇所があるので整備してほしい。	● 警察や国・広島県・大竹市の担当者、PTAが一体となって行う通学路の緊急安全点検を毎年実施している。そこで異常や危険箇所が見つかった場合は、優先順位を付けながら対応している。
4	● 通学路のアスファルトを色付けしてほしい。	● 通学路で歩道がない箇所については、グリーンベルト(歩道がない道路の路側帯を緑色に着色して、通行車両に通学路を視覚的に認識させる)を設置するなど、その都度対応している。
8	● 子どもの安全のためにパトロールを強化してほしい。	● 大竹市防犯連合会等が交代で青色防犯パトロール活動を展開し、地域の子どもの見守りを行っている。大竹市としては、補助金を出して活動を支援している。また、公用車に「子ども安全パトロール」のステッカーを貼って、「ながら見守り活動」を行っている。
10	● 夜間、街灯がなく暗いため、街灯を整備してほしい。	● 国等の基準に基づいて必要な照度を確保している。市営外灯のうち道路等と歩行者灯のLED化について本年度からの2カ年事業で進めており、照度も明るくなるのではと想定している。柱や外灯の新設は考えていないが、必要と認められる場合は増設も検討する。 ● 自治会等で防犯灯を設置する場合は、設置工事費用の補助を行って支援している。

3. 対応について今後検討を行うもの

基本目標① すべての子どもが健やかに成長できるまち

基本方針2. 様々な環境にある子どもへの支援

(2) 障害のある児童などへの支援

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
4	● (第3回会議) 医療的ケア児に対する支援について、大竹市での取組はあるか。シミュレーション等はしているか。	● 公立の認定こども園で医療的ケア児を受入れる方向で、看護師の確保に動いている。医療的ケア児も健常児と一緒に保育をすることは今後の大きな課題。看護師が確保できれば前向きに対応し、全ての日数受け入れは難しいかもしれないが前進したい。 ● 就学にあたって委員会を開き、専門家の意見を踏まえ、就学先を決定する。どこへ進学した場合も、交流するということは学校でも取り組んでいる。
5	● 障害のある子どもでも安全に楽しく遊べる場所がほしい。	● 障害のある児童も遊べる遊具については、全国的に整備が広まっているのは承知しているが、大竹市内にはないため、今後検討していく。

基本方針3. 健やかな次世代の育成

(2) 小中学校教育の推進

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
6	● 進学時に用意するものや、それに伴う金額を早めに教えてほしい。(できれば HP などを目安の金額が分かるよう)	● 進学時にかかる大まかな金額については、ホームページへの掲載を今後検討する。 ● 2年後に子育てガイドブックを改訂するため、ブック内での掲載を検討したい。

基本目標② すべての親が子育ての喜びを実感できるまち

基本方針4. 子育て支援の充実

(1) 相談・支援体制の充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● 子育て支援センターを土日祝でも利用できるようにしてほしい。 ● どんぐり HOUSE を毎週土曜日に開けてほしい／開館時間を延ばしてほしい。	● 子育て支援センターどんぐり HOUSE は、現在第2・第3土曜日を開館している。当面は月2回の開館を続け、ニーズが高ければ毎週土曜日の開館を検討したい。 ● 開館時間の延長は、現時点では職員配置の問

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
		題で難しいが、利用状況を踏まえて開館時間を延長するか検討したい。
2	● 大竹市外の子どもも支援センターで一緒に遊べるようにしてほしい。	● 施設の収容能力と職員の配置の問題から現在は大竹市内の子どもに限っている。今後の検討課題としたい。
13	● 気軽に家事代行を頼めるリーズナブルな事業があると良い。(あるならもっと情報発信してほしい)	● ヘルパーが訪問して家事等のサービスを提供する事業(家事育児支援サービス)について、令和7年度からの実施を予定している。(料金は一割負担のみのため、安価での利用が可能。)

(2) 情報発信の充実・強化

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● (第1回会議) 大竹保育所の改修について、委員や該当の保護者が感じる不安は情報量のなさが大きな原因。限られた場だけでの情報提供ではなく、もっと積極的に見てほしいという姿勢を持つことで、大竹市に対する印象が変わる。 ● (第2回会議) 情報発信が上手くいっていない印象。子育て以外でも、大竹市の HP の中に実は載っていることがあるが、知っている人が結構少ない。HP を少し入ってみると逆に見づらい。HP に掲載という PR も足りないと感じる。 ● (第2回会議) 子育て支援課、子育て支援をされている方の紹介、母子手帳や出生届を出す時に一緒に両親と(情報を)見ていく、丁寧な説明をもう少しされるといいのでは。	● 情報発信の方法については今後検討していく。適切な発信に努めたい。
4	● 保育園の空き状況を HP で確認できると良い。	● 今後対応を検討したい。入所調整後の情報であれば、掲載することも可能ではないかと考える。ただ、掲載時に空きがあったとしても入所を確約するものではないことをご理解いただきたい。

(3) 遊びの場・学びの場づくり

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
4	● もっと身体を動かせる場所がほしい。 ● 小方中学校跡地を子どもの遊び場として整備してほしい。	● 今後の公共施設等を検討する中で参考としたい。
6	● もっと公園などの子どもの遊び場を整備してほしい。(増やす、きれいにする、遊具を増やす)	● 一人当たりの公園充足率は基準を満たしているため、整備・管理費のことを考えると新規で公園を増やすことは考えていないが、遊具の更新や公園の維持管理については今後検討する。
10	● 子どもが公園で遊んでいたらゲートボールをするからと追い出されたことがあり、子どもはその後公園に寄り付かなくなってしまった。(秋葉公園) ● 近所の公園で年配の方がゲートボールをしており、遊具なども何も無いためゲートボール専用の様になっている。野球のボールとバットを持っていると、禁止だと言われた事がある。 ● 伸び伸びできない。公園で遊ぶ事を老人にとっても遠慮している。すぐに苦情が入る。	● 公園の運用面に関しては、大竹市として対応が難しいが、子ども達がのびのびと遊べる遊び場については、今後検討を続ける。
17	● 子育て世代向けに行われるイベントについて、土日の開催も検討してほしい。	● 土日にイベントを開催しているが、平日イベントと比較して参加者は多くない。イベント内容に沿った開催曜日を今後も検討していく。

基本方針5. 仕事と家庭の両立支援

(1) 保育体制・保育サービスの充実

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
3	● (第1回会議) 大竹保育所の保育士の加配について対応を。	● 保育士の確保策等については、今後検討を行う。
14	● 日曜・祝日に子どもを預けられる施設がほしい。	● 日曜日と祝日は保育所が休園しており、預けるとなるとファミリー・サポート・センターを利用するしかないのが現状。日曜日と祝日に子どもを預けたいというニーズは一定数あると考えており、対応については今後の検討課題としたい。 ● 緊急時にはファミリー・サポート・センターの利用も検討していただきたい。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
22	● 子どもを預けるサービスを充実してほしい。	● 今後、ファミリー・サポート・センターや一時保育の充実について検討していく。

(2) 児童の安全・安心な居場所づくり

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● (第3回会議) 居場所づくりで、大竹市で考えていることがあるか。	● 子どもの居場所をどう確保するのかというのは国の施策としてもかなり大きな柱となっていると認識している。今後の施策で触れられるところがあれば触れていきたい。
7	● ひかり児童クラブを土曜日も 18 時半まで開けてほしい。	● 土曜日の利用時間の変更については今後料金区分を見直す段階で検討したい。

基本目標③ 地域と市民が「子どもの育ち」と「子育て」に寄り添い、支えるまち

基本方針6. 子育てにやさしい生活環境の整備

(2) 交通安全・防犯活動の推進

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
6	● (第3回会議) 「こども 110 番の家」はプレートがあるだけで、非常に分かりにくい。少し予算はかかるが、のぼりを出すなど、子どもがすぐ分かるようにしてほしい。	● 現在、ステッカー型や小旗型など、他自治体の事例を調査しているところ。どういった形で子どもたちに分かりやすく示していくかは今後検討していく。

(3) 多世代の交流の場づくり

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
1	● (第2回会議) 公園ではほとんどボールを使って遊ばず、遊び場はほとんどなく家で遊ぶしかない。和木小では遊べる状態なので、(大竹市の小学校でも) 少しの時間でもいいし、曜日指定でもいいので(グラウンドを) 使わせてほしい。限られた時間でもいいから遊ばせてあげたいというお母さん方の意見がある。 ● (第2回会議) 現に利用者同士でトラブルが起きており、それを学校の先生方に言う人がおられるから学校側はそういう手段(自由利用としないこと)を取らざるを得ないと聞いている。 ● (第2回会議) 利用するからには責任も伴うことを各ご家庭が理解し、受け入れた上で利用することを認めていただきたい。 ● (第2回会議) グラウンドの利用に関して、先進地区では学校と老人クラブが協力して見守り体制をつくっているところもある。ボランティアに協力を仰いでみては。 ● (第2回会議) 自分たちの目の届いていない時に不特定多数に利用されるのは少し怖いという不安もあり、(施設開放は) あまり簡単なことでもない。 ● (第2回会議) 土日や正月休み(に遊ぶこと)は望んでいない。月～金曜の学校終了後、何時間でもいいから友達と遊びたい、広いところで遊ばせたい。 ● (第3回会議) 大竹小学校と和木小学校は運用の仕方が違うのかも。 ● (第3回会議) 学校開放は、公園と同じと言われたことがある。大竹市にも一定の責任があるが、子どもがけがをしたら全て大竹市が悪いわけではない。そういう意味で(学校の開放は) できないと思う。工夫をして考えてほしい。 ● 小学校のグラウンドで遊べるようにしてほしい。	● 現在は、セキュリティや安全管理等の問題もあり、事前に登録した団体のみが利用できるよう「学校開放事業」として一般への開放を行っている。放課後にグラウンドを使用したという場合は、その場に責任者や管理者を置き、怪我等がないように子どもを見守るということであれば、(団体利用として許可できるものであれば) 利用可能である。

No.	アンケート結果、子ども・子育て会議	対応
【その他の自由記述】		
4	● 男性トイレにもおむつ台が増えると良い。	● 新しく整備する施設において、今後検討していく。
7	● 令和10年に旧小方中体育館がなくなると聞いた。体育館を完全になくすことは止めてほしい。	● 今後の公共施設等を検討する中で参考としたい。
9	● 子どもにとって安全で安心して生活できる大竹市であってほしい。	● 大竹市として努力していく。